

群馬県公立大学法人

令和4年度業務実績に関する評価結果

令和5年9月

群馬県公立大学法人評価委員会

目次

はじめに	1
全体評価	3
項目別評価	4
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	4
1 群馬県立女子大学	4
2 群馬県立県民健康科学大学	6
第2 大学間の連携に関する目標	7
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標	8
第4 財務内容の改善に関する目標	9
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	9
第6 その他業務運営に関する重要目標	10
資料	12
群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領	12
群馬県公立大学法人評価委員会 委員名簿	16

はじめに

群馬県公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第1項の規定により、群馬県公立大学法人（以下「法人」という。）の令和4年度の業務の実績について、以下のとおり評価を行った。

1 評価方針

- （1）大学の教育研究の特性及び大学の自主性や自立性に配慮しつつ、法人が適正かつ効率的に運営されるよう、法人の業務運営の改善や向上に資するものとする。
- （2）法人運営の透明性の確保に資するよう、法人の各事業年度の業務運営に関する計画（以下「年度計画」という。）の進捗状況や中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）の達成に向けた取組の成果を明確に評価するものとする。
- （3）法人がより魅力ある大学とするために実施する特色ある取組や工夫に対して、積極的に評価を行うものとする。

2 評価方法

評価は、「群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領」に基づき、全体評価及び項目別評価により行った。

（1）全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務実績の全体について総合的に評価を行った。

（2）項目別評価

年度計画に定めた小項目ごとに法人が行った自己評価の内容を検証し、評価項目ごとに5段階で評価を行った。

凡例

(1) 法人による自己評価及び委員による検証

評価区分	評価内容
	年度計画を上回って実施している。
	年度計画を順調に実施している。
	年度計画を十分には実施していない。
	年度計画を実施していない。

(2) 評価委員会による評価

評価区分	評価内容
S	特筆すべき進行状況にある。(特に認める場合)
A	計画どおり進んでいる。(すべて ~)
B	おおむね計画どおり進んでいる。(~ の割合が概ね9割以上)
C	やや遅れている。(~ の割合が概ね9割未満)
D	重大な改善事項がある。(特に認める場合)

全体評価

ポストコロナ時代を迎え、多様な学びの在り方や学生支援の充実が求められる中、両大学の特色を活かした取組により、第一期中期計画を着実に遂行し、成果を上げていると認められる。

令和4年度における中期計画の実施状況は、計画どおりに進んでいると評価する。

群馬県公立大学法人は、群馬県立女子大学及び群馬県立県民健康科学大学の2大学を運営する地方独立行政法人として、平成30年4月に設立された。

法人化5年目である令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響、世界的な物価や燃料費の高騰等の影響を受けることとなったが、学修できる機会、環境の確保に向けた取組が見られた。女子大学においてはコロナ禍にありながら英語習得へのモチベーションを維持し、3年連続でTOEICスコアの目標値を上回り、県民健康科学大学においては教育内容のきめ細やかな検証と改善により、3つの国家試験合格率100%を達成するなど、成果を上げた。

法人による自己評価を検証した上で行った項目別評価については、全評価項目について、「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

令和4年には日本の出生数が初めて80万人を切るという状況の中で、大学が育成すべき人材像を明確にし、DXなどの新領域への対応、社会人の大学院等での学び直しの対応など、県立大学が目指すべき方向性を根本的に議論する時期が到来していると言える。

コロナの法的類型変更に伴い、本格的にウイズコロナの時代が始まる中、コロナ以前に戻すものとコロナ禍で得た新たな手法などをうまく織り交ぜ、学生（志願者）が魅力を感じて止まないような新たな大学運営を目指してほしい。

項目別評価

項目別評価結果一覧

評価項目		評価委員会による評価結果	
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	1 群馬県立女子大学	A	計画どおり進んでいる。
	2 群馬県立県民健康科学大学	A	計画どおり進んでいる。
第2 大学間の連携に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第4 財務内容の改善に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第6 その他業務運営に関する重要目標		A	計画どおり進んでいる。

第1 教育研究等の質の向上に関する目標

1 群馬県立女子大学

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価		評価委員会による検証結果
(1) 教育に関する目標	ア 入学者の受入れ	年度計画を順調に実施している。	同左
	イ 教育の内容	年度計画を上回って実施している。	同左
	ウ 教育の実施体制	年度計画を上回って実施している。	が適当
	エ 学生支援	年度計画を順調に実施している。	が適当
(2) 研究に関する目標	年度計画を順調に実施している。		同左
(3) 地域・社会貢献に関する目標	年度計画を順調に実施している。		が適当

「(1) 教育に関する目標 エ 学生支援」及び「(3) 地域・社会貢献に関する目標」については、年度計画を上回っているとの意見もあったが、「 (年度計画を順調に実施している)」が適切であると判断した。「(1) 教育に関する目標 ウ 教育の実施体制」については、年度計画を順調に実施しているとの意見もあったが、「 (年度計画を上回って実施している)」が適切であると判断した。その他3項目については、全員一致で法人による自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目が 又は 評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A (計画どおり進んでいる)」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

学部の志願倍率目標達成の努力は見られる。

- 入学者数に占める県内出身者数の割合が目標値に達したことは評価できる。

学生の授業満足度も高く、英語運用能力も目標を上回っている。

3ポリシーの整合性を確認、見直し、カリキュラムマップなどと合わせて各学科・課程で何を学ぶことができるのか、教育内容が分かりやすく発信されている。

FD・SD研修の拡張実施や、インターネットなど学習環境整備への積極的な投資、県内国公立5大学協働のSD研修への参画など、教育の実施体制についてソフト・ハード両面から常にアップデートされている姿勢を高く評価する。

コロナの影響のなか、対面・オンライン・電話などを活用し、高い就職率を実現している。

イングリッシュ・ヘルプディスクの活用や学生アンケートの実施、コロナ後を見据えた留学支援の万全な取組などとともに「オピニオンボックス」の意見に学長が回答するなど、大学を挙げて学修者本位の姿勢を体現していると評価する。

研究発表件数が目標を上回っている。

地域との連携事業数は目標を上回って実施されていて評価できる。

(3) 評価に当たっての意見等

数少ない女子大学として、今後は特にホームページの改良や地元行政あるいは地元企業との連携を推し進めることで、広く県内外から優秀な学生が集まるような魅力的な学風の醸成に腐心され、これまで以上に群馬県に優秀な人材を輩出し続けることを望む。

大学院の定員充足をどのように実現するのかが見えない。

県内企業のグローバル化を支援するようリカレント教育のニーズも今後考慮し、検討されてみてはいかがか。

受託共同研究件数は努力が必要。

研究倫理教育は、事案の発生防止のために強化する必要はないだろうか。

外部資金の獲得に資するバックアップ体制や、研究上必要なICT等の環境整備に腐心されていると推察できる。今後はサバティカル研修制度の早期導入など、より様々な角度から支援体制の強化及び拡充を図られたい。

設備投資については、ICTに関連するものは目標値を超えているものの、建物の老朽化に対する対応は今後計画する必要があると考える。

2 群馬県立県民健康科学大学

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目		法人による自己評価	評価委員会による 検証結果
(1) 教育に関する 目標	ア 入学者の受入れ	年度計画を順調に実施している。	同左
	イ 教育の内容	年度計画を上回って実施している。	同左
	ウ 教育の実施体制	年度計画を順調に実施している。	が適当
	エ 学生支援	年度計画を順調に実施している。	が適当
(2) 研究に関する目標		年度計画を順調に実施している。	が適当
(3) 地域・社会貢献に関する目標		年度計画を順調に実施している。	同左

「(1) 教育に関する目標 ウ 教育の実施体制、エ 学生支援」及び「(2) 研究に関する目標」については、年度計画を上回っているとの意見もあったが、「 (年度計画を順調に実施している)」が適当であると判断した。その他3項目については、全員一致で法人による自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目が 又は 評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A (計画どおり進んでいる)」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

国家試験合格率 100%、就職率 100%、高い授業満足度など、少人数教育の実績が現れている。

- コロナ禍で学外での活動が制限される中で、比較的高い成果を挙げられている。

大学院の充足率をほぼ満たしている。

ICT を活用した教育及び学修環境が着実に整備されている。

FD 研修を開催され、受講率は 100%で、全学的に情報共有されていることは高く評価できる。

看護学部では文科省の大学改革推進等補助金を得て、看護実践能力を高める環境整備を行い、実際に授業を実施された。

IR 部会が提示するデータに基づき教学マネジメント部会、内部質保証委員会で検証しながら PDCA サイクルを回せる体制を整えられたことで、今後の教育充実に期待ができる。

「3つの国家試験合格率 100%」が表すとおり、3つのポリシーの有効性や互換性などの確認や組織的なシラバスチェックなど常に教育内容のきめ細かな検証と改善を実施していることを高く評価する。

学部生も積極的に国際学会で発表できるよう支援を実施されており、実際に受賞にまでつながる成果を得られたことは高く評価できる。

コロナ禍で実績数は少し伸び悩んでいるが、オンラインの公開講座を実施するなど、地域貢献の努力が認められる。

(3) 評価に当たっての意見等

教員資格審査の厳格化やFD研修への100%参加など、教員のレベルアップ及び適正配置に向けた取組をさらにバージョンアップして継続されたい。

カリキュラムアドバイザーによる学修支援や就職支援と併せ、海外の学会における発表を支援することで、コロナ禍による閉塞感の中にいる学生のモチベーションアップを図っていただきたい。

論文数や研究発表数など、いずれの指標も目標値に達していない。

レベルの高い医療人を輩出しているものの、県民の間で知名度は決して高くはない。よって今まで以上に広報戦略を強化し、まずは知名度のアップを図られたい。

県内各医療機関のトップと健科大学長による懇談の機会を設けるなどして、健科大卒業生の県内医療機関への就職率アップと、人材の県内定着などを通じた群馬県の医療のさらなるレベルアップに資する活動を継続されることを望む。

第2 大学間の連携に関する目標

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による検証結果
大学間の連携に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左

法人が「（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は全員一致で妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

DXタスクフォースを立ち上げるなど、両大学の連携が認められる。

(3) 評価に当たっての意見等

両大学連携の土台は固まったと思うが、今後は県内の国公立5大学のさらなる連携強化を推進することを望む。

- 推進するという目標に対する実績としては、具体性に欠ける。目標値の設定の際に、目標に沿ったより具体的な取組を立案する必要があるように思う。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による 検証結果
1 組織運営の改善に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左
2 人事の適正化に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左
3 効率的・合理的な業務執行に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左

全ての項目において、法人が「（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は全員一致で妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

次期中期計画や地域貢献センターの設置に向けた検討が行われている。

プロパー職員の令和6年4月採用に向けて準備が進んでいる。

県民健康科学大学の法人事務局のサテライトオフィスの検討などが始まった。

(3) 評価に当たっての意見等

- 法人の持続的運営のために、プロパー職員の採用に向けた取組は重要であるとする。

プロパー職員の導入が目前に迫る中で、採用後の課題や問題点の抽出及びその対処法の明確化が急がれる。

機動力を発揮して組織横断的に動ける学長直轄の部門(部署)を設け、重要事項や至急案件などについて処理の迅速化を図ることなどはどうか。

各種研修会への参加も促したい。

- 教学 IR については速やかに規程を策定し委員会を立ち上げ、必要に応じて W.G. を設置するなど、両大学に共通する改善活動を早期に開始されたい。

近い将来大学の DX が進んでいくことが想定される中、来たる時代に備えて将来ビジョンを明確にすると同時に、現状の運営課題等の分析を怠らず、大きな変革にも即応可能な組織運営体制の構築を目指していただきたい。

第4 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による 検証結果
財務内容の改善に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左

法人が「（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は全員一致で妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

電気料金の急激な高騰への対応など、健全な財政維持のために取り組んだ。

(3) 評価に当たっての意見等

概ね計画どおりであるが、人件費の割合が高い財政状況が続いている。構造の転換はどうか課題として残る。

- 科研費については、大学の研究において重要なものであり、今後も獲得に向けた取組を強化していくことが望まれる。

特に事務局職員がリーダーシップを発揮して、経営意識を全学に広めてほしい。

光熱費の高騰はしばらく続くことが想定されるため、節電や経費の削減に関するアイデアを教職員から募るなど、法人挙げての取組を実践する必要がある。

第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による 検証結果
1 自己点検・評価等に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左
2 情報公開等の推進に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左

2つの小項目において、法人が「（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は全員一致で妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

（2）高く評価する取組等

動画なども活用して、ホームページ等で情報が積極的、効率的に発信されている。
自己点検・評価等を行ってホームページで公開している。

（3）評価に当たっての意見等

両大学とも、ホームページに関しては学生からの意見も募るなどして、志願者や県民を惹きつける斬新な画面構成となるよう改善してほしい。

- 情報提供・発信方法について、今後はホームページだけでなく、その他の媒体も検討するべきであると思われる。

教育や研究、地域貢献などに関する両大学の実績を積極的に情報発信し、広く県の内外に周知することは論を待たず、さらに学長のトップメッセージや、魅力的な教授陣の情報などを今以上に強く発信することで、さらなる知名度アップや志願者の増加に結び付けてほしい。

内部質保証推進委員会、自己点検・評価専門部会の活動が形骸化しないよう、学長による確認及び監査の体制を構築する必要もあると推察する。

ディスクロージャーに関しては適宜適切に履行されたい。

第6 その他業務運営に関する重要目標

（1）評価結果

評価委員会による評価	A	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による 検証結果
1 施設・設備の保全・活用に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左
2 安全管理に関する目標	年度計画を順調に実施している。	同左
3 社会的責任及び法令遵守に関する目標	年度計画を順調に実施している。	が適当

「3 社会的責任及び法令遵守に関する目標」については、年度計画を十分には実施していないとの意見もあったが、「（年度計画を順調に実施している）」が適当であると判断した。その他の2項目については、全員一致で法人による自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目が 評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

(2) 高く評価する取組等

設備の改善、コロナ対策、キャンパスのゼロカーボン化などにも意欲的に取り組んでいる。

- 情報セキュリティやハラスメントについて研修も適宜行っている。
県と連携して設備の改修工事などを実施した。
施設整備の点検を着実に実施され、老朽施設の機能改善が図られている。
- コロナ対応や防災対策に適切に取り組んでいる。

(3) 評価に当たっての意見等

施設の貸出は、需要がある限りにおいて積極的に開放することを望む。

- 設備の老朽化の問題は予算との兼ね合いがあるため、今後も予算設定の際の重点課題として取り扱う必要がある。
- 再び新興感染症が流行することを想定し、平時より感染拡大時の対応について協議しておく必要があり、教職員及び学生に対する啓発活動を実践されたい。
- 学長によるトップの明確な発信によって、不正防止あるいはハラスメントの撲滅などに向けたコンプライアンスの徹底を図られたい。

【参考：全体についてのコメント】

- コロナ禍の困難な状況において、改革と目標達成のために、臨機応変な対応も工夫と改善で解決されたことについて、大きく評価をしたい。
- 人事計画として、どのような形でプロパー職員を獲得するのか、全体像が見えない。どのような専門性を持った職員をどのように採用するのかを明確にする時期なのではないだろうか。
- 女子大学の共学化について、検討を行う時期であると思われる。

資料

群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領

平成30年10月15日
群馬県公立大学法人評価委員会決定

1 趣旨

群馬県公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行う群馬県公立大学法人（以下「法人」という。）の業務の実績に関する評価に関し、必要な事項を定める。

2 評価方針

- (1) 大学の教育研究の特性及び大学の自主性や自立性に配慮しつつ、法人が適正かつ効率的に運営されるよう、法人の業務運営の改善や向上に資するものとする。
- (2) 法人運営の透明性の確保に資するよう、法人の各事業年度の業務運営に関する計画（以下「年度計画」という。）の進捗状況や中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）の達成に向けた取組の成果を明確に評価するものとする。
- (3) 法人がより魅力ある大学とするために実施する特色ある取組や工夫に対して、積極的に評価を行うものとする。

3 評価の種類等

評価委員会が実施する評価の種類、対象・趣旨、実施時期は、次の表のとおりとする。

種類	対象・趣旨	実施時期
(1) 事業年度評価	各事業年度における年度計画に係る業務実績の評価（中期目標の達成に向けた中期計画の進捗確認含む）	毎年度終了後
(2) 中間評価	中期目標期間の最後の事業年度の前々事業年度（4年目）における中期目標期間終了時（6年目）に見込まれる当該期間における業務実績の評価	中期目標期間4年目終了後
(3) 中期目標期間評価	中期目標期間（6年間）における業務実績の評価	中期目標期間終了後

4 評価方法

(1) 評価の手法

事業年度評価、中間評価及び中期目標期間評価は、それぞれ項目別評価及び全体評価により実施する。

ア 項目別評価

評価委員会は、年度計画又は中期計画に定めた最小の事項（以下「小項目」という。）ごとに法人が行った自己評価の内容を検証し、別紙に定めた評価の単位とする項目（以下「評価項目」という。）ごとに5段階で評価を行う。

イ 全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務実績の全体について総合的に評価を行う。

(2) 項目別評価

ア 法人による自己評価

(ア) 法人は、年度計画又は中期計画の実施状況を小項目ごとに次の4段階で評価し、当該実施状況の評価及びその理由等を記載した業務実績報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。

評価区分	評価内容
	年度計画を上回って実施している。
	年度計画を順調に実施している。
	年度計画を十分には実施していない。
	年度計画を実施していない。

中間評価及び中期目標期間評価においては、「年度計画」とあるのは、「中期計画」とする。

(イ) 法人は業務実績報告書に、(ア)に掲げるもののほか、評価項目ごとに法人として特色ある取組や工夫などを記載する。

イ 評価委員会による法人の自己評価の検証

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書について、法人に対してヒアリング等を実施し、小項目ごとに法人が行った評価を検証する。

ウ 評価委員会による評価

(ア) 評価委員会は、イの検証結果に基づき、当該年度における年度計画及び中期計画の実施状況又は中期目標の達成状況を評価項目ごとに次の5段階で評価する。

【事業年度評価の評価区分】

評価区分	評価内容
S	特筆すべき進行状況にある。(特に認める場合)
A	計画どおり進んでいる。(すべて ~)
B	おおむね計画どおり進んでいる。(~ の割合が概ね9割以上)
C	やや遅れている。(~ の割合が概ね9割未満)
D	重大な改善事項がある。(特に認める場合)

【中間評価及び中期目標期間評価の評価区分】

評価区分	評価内容
S	中期目標の達成状況が非常に優れている。(特に認める場合)
A	中期目標の達成状況が良好である。(すべて ~)
B	中期目標の達成状況が概ね良好である。(~ の割合が概ね9割以上)
C	中期目標の達成状況が不十分である。(~ の割合が概ね9割未満)
D	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。(特に認める場合)

(イ) 中期目標期間評価のうち大学の教育研究等の質の向上に関する目標の評価は、地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第79条の規定により、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえて実施する。

(3) 全体評価

評価委員会は、の項目別評価の結果を踏まえ、当該年度における中期計画の実施状況若しくは中期目標の達成状況並びに法人の業務実績の全体について、記述式により総合的に評価を行う。

5 評価結果

- (1) 評価委員会は、評価の結果を法人に通知する。
- (2) 項目別評価結果がB又はCの評価項目については、法人が自主的に業務運営の改善その他の所要の措置を講ずるものとする。
- (3) 項目別評価結果がDの評価項目については、評価委員会が業務運営の改善その他の勧告を行う。

6 業務実績報告書の提出時期

法人は、業務実績報告書を6月末日までに評価委員会に提出する。

7 その他

この要領は、必要に応じて改定を行う。

別紙 評価の単位とする項目

中期計画・年度計画項目		
評価項目	小項目	
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	1 女子大学	(1) 教育に関する目標
		ア 入学者の受入れ
		イ 教育の内容
		ウ 教育の実施体制
	2 県民健康科学大学	エ 学生支援
		(2) 研究に関する目標
		(3) 地域・社会貢献に関する目標
		(1) 教育に関する目標
		ア 入学者の受入れ
		イ 教育の内容
ウ 教育の実施体制		
エ 学生支援		
(2) 研究に関する目標		
(3) 地域・社会貢献に関する目標		
第2 大学間の連携に関する目標	-	
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標	1 組織運営の改善に関する目標	
	2 人事の適正化に関する目標	
	3 効率的・合理的な業務執行に関する目標	
第4 財務内容の改善に関する目標	-	
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	1 自己点検・評価等に関する目標	
	2 情報公開等の推進に関する目標	
第6 その他業務運営に関する重要目標	1 施設・設備の保全・活用に関する目標	
	2 安全管理に関する目標	
	3 社会的責任及び法令遵守に関する目標	

群馬県公立大学法人評価委員会 委員名簿

任期：令和5年7月18日～令和7年7月17日

氏名	役職等	備考
大宮 登	高崎経済大学 名誉教授	委員長
正田 章倫	日本公認会計士協会東京会群馬県会	
鈴木 宏子	共和産業株式会社 代表取締役社長	
田中 麻里	群馬大学 共同教育学部 教授	委員長職務代理
西松 輝高	群馬県医師会 副会長	

(五十音順・敬称略)